



## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

# マダニにご用心



監修 診療部部長 総合診療科 懸樋 英一

## マダニが人に及ぼす影響

マダニは山や草むらなどに多く生息しており、春から秋にかけて活動が活発になります。マダニの栄養源は動物の血液で、人や動物の皮膚に付着して吸血します。マダニはウイルスや細菌を保有していることがあり、マダニに咬まれた際に、日本紅斑熱、つつがむし病、ダニ媒介性脳炎、重症熱性血小板減少症候群(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome、以下SFTS)などの感染症に罹患する可能性があります。

今回はその中の一つ、「SFTS」についてご紹介します。

## SFTSについて

SFTSはダニ媒介感染症のひとつで、SFTSウイルスを持つマダニに刺咬されることで感染します。日本では2013年1月に初めて確認されて以降、毎年60～90名程度の患者が西日本で広く報告されています。鳥取県では2020年6月に初めて確認され、同年8月に2例目が確認されました。

感染すると6～14日間の潜伏期間を経て、発熱、消化器症状(食欲不振、嘔吐、下痢など)や、時に頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、けいれんなど)、リンパ節腫脹、出血症状などの症状を伴います。血液検査の所見では、血小板・白血球の減少、血清酵素(AST、ALT、LDH)の上昇が認められます。致死率は10～30%程度であり、早期の医療機関受診が必要ですが、有効な薬剤やワクチンは無く、治療は対処療法しかありません。

## マダニ対策 & 熱中症対策も!

農作業やキャンプなど、山や草むらで作業する場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、肌の露出を少なくすることが大切です。

夏にかけて暑くなってくると、長袖・長ズボンなどによって体温を発散しにくくなるため、熱中症を発症する可能性があります。暑い日に作業をする際は、こまめな水分補給と休憩も大切です。



## もし咬まれてしまったら

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間吸血します。もし、吸血中のマダニに気が付いた時はマダニを除去しようとせず、すぐに医療機関(皮膚科等)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあります。

また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

今年も暑い季節がやってきました

# 熱中症予防<sup>plus</sup> + コロナ感染防止

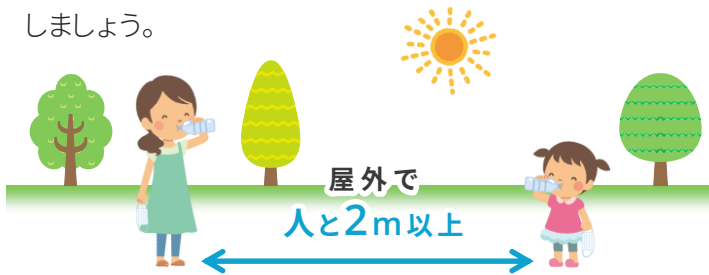
昨年から流行している新型コロナウイルス感染症によって、マスクが手放せない日が続いています。そして、これから日中30℃を超える日が増えてくることで気をつけたいのが熱中症です。

マスクは飛沫の拡散予防など基本的な感染対策として有効ですが、マスク着用により体温調整がしにくくなり、熱中症のリスクが高まります。感染防止に努めつつ一人の時はマスクをはずすなどの熱中症対策を行いましょう。

## 屋外で人と距離がとれる時は マスクをはずしましょう



屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずして熱中症リスクを回避しましょう。



## のどが渇いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- マスク着用時はのどの渇きに気づきにくいので、**渇く前に水分補給**
- 入浴や運動など**汗をかく前後**にも水分補給
- 大量に汗をかいた時は、**塩分補給**も忘れずに！



## エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

一般的な家庭用エアコンは室内の空気を循環させるだけで、換気を行っていません。冷房時でもこまめに換気しましょう。

- 窓やドアなど**2カ所**開ける
- **扇風機**や**換気扇**を併用する
- 換気後はエアコンの温度を**こまめに再設定**



## このような人は熱中症に 特に注意しましょう

- 体力がない人、体調不良者
- 肥満の人
- 暑さに慣れてない人
- 高齢者
- 高血圧、糖尿病、アルコール依存症の人
- 発汗機能が低い人
- 発汗機能を低下させるお薬を服用されている人

〔抗パーキンソン病薬、  
抗コリン薬、  
抗ヒスタミン薬〕

## 第74回 市民医療講演会 放送のお知らせ

令和3年度第74回市民医療講演会をケーブルテレビ「いなばぴよんぴよんネット」で放送いたします。ここに書かれていない内容もお話ししますので、ぜひご覧ください。

放送日

令和3年7月20日 火

ケーブルテレビ「いなばぴよんぴよんネット」で、6時30分から23時30分、1時間おきに放送

テーマ

「熱中症の予防と治療」

鳥取市立病院 副院長(麻酔科) 浅雄 保宏

# 防災訓練を行いました

4月に採用となった職員が入職して3ヶ月経ち、職場環境や病院内の構造などにそろそろ慣れてくるころです。そこで毎年6月中旬に新規採用者を対象に院内防災訓練を行っています。

各部署の場所や、間取りは結構分かってきたけれども、院内の防災設備については知らないことがいっぱいです。まずは院内防災時マニュアルの説明から始まり、地震・火災・風水害時の行動や心得についての講義が行われました。次に、当院の防災設備の管理を担当する(株)吉備総合電設にご協力いただき、天井に備え付けられているスプリンクラーやエレベーターホールの防災設備を実際に見ながら説明を受け、有事の際に防災設備がどのような動作をするのかを確認しました。最後に実技として、消火栓を使用した放水訓練、消火器使用訓練を行い、初期消火の手順を確認しました。例年、救助袋の設営と降下訓練も行いますが、天候不良のため中止しました。

有事に適切な対応や行動を取るためには日頃からの準備、訓練や知識の集積が不可欠です。近年では大雨による水害の報道を多く耳にします。当院は河川に面しており、ハザードマップでは最大3mの浸水被害になると予想されています。水害に限らず災害はいつ起きても不思議ではありません。医療機関としての責務を果たすべく、このような訓練を病院全体で取り組んでまいります。



エレベーターホールに備え付けてある防災設備の説明を受ける。



消化散水栓での放水時に手にかかる反動を体験。



2019年6月撮影

今年度中止した救助袋の訓練は、例年ですと設営後実際に降下体験をします。

## お知らせ

### 令和3年の祝日移動にともなう診療日の変更について

令和三年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法(平成27年法律第33号)第32条第2項の規定に基づき、令和3年に限り、「海の日」は7月22日、「スポーツの日」は7月23日、「山の日」は8月8日に変更となります。

それに伴い、当院の休診日は右記のとおりとなります。

お持ちの令和3年(2021年)カレンダーによっては、上記の規定に関する変更が反映されていないものもございますので、ご注意ください。

救急診療は通常どおり受付体制を整えております。

詳しくは首相官邸ホームページおよびリーフレットをご覧ください。

### 休診日変更一覧

- 7月19日(月) 通常診療
- 7月22日(木) 休診日(海の日)
- 7月23日(金) 休診日(スポーツの日)
- 8月 9日(月) 休診日(山の日の振替休日)
- 8月11日(水) 通常診療
- 10月11日(月) 通常診療



首相官邸ホームページ  
「2021年の祝日移動について」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/tokyo2020/shukujitsu.html>



リーフレット(PDF形式)  
「2021年の祝日が移動します」